

朝に仰ぐ²⁰²⁴

志高く、自ら考え、たくましく未来を拓く児童の育成



つ よい子良い子

や さしい子

笑顔いっぱい 津谷小学校

気仙沼市立津谷小学校

校長 菅原 理恵

発行日 令和7年3月18日（水）

明日は卒業式

明日は、6年生の卒業式です。統合1年目「新しい津谷小学校」の初めての卒業式となります。先日の予行演習では、6年生46名全員が真剣な表情で参加していました。卒業証書を受け取るときの真っ直ぐな眼差しを見ていると、どの子も「楽しい日々だった」「充実した6年間だった」「この1年は『新しい津谷小学校』の最高学年として全力でやり切った」という気持ちで満ち溢れているようでした。卒業アルバムの作文には、どの作文にも一生懸命頑張ったことや楽しかったことがあり、さらには家族や地域の方々、そして先生方への感謝の言葉で溢れていました。自分たちの幸せだけでなく、他者への感謝をこれほどまでに持つことのできる6年生はなかなかいないと思います。感謝の心をもつことができる6年生は自分も他人も幸せにすることができたことなのでしょう。また、昨日、校長室に学年便り「和っしょい」を届けてくれた子供たちがいました。見ると職員室にも届けています。中を見ると「あと数日に心を込めて」とあり、46人1人1人が「あと数日」の小学校生活や卒業式への思いや意気込み、サポートしてくださった家族や地域の方々、先生方への感謝の言葉が載せられていました。読みながら涙が止まりませんでした。統合し、新しい友達と共に「よく遊びよく学んだ」6年生、「挑戦・全力・努力」を体現してきた6年生の子供たちの大きな成長に感動しました。卒業式には5年生が在校生代表として参加します。5年生もまた、立派な態度で予行演習に参加していました。心を込めて6年生を送り出したいという気持ちが溢れていました。4年生から1年生までの子供たちは参加することはできませんが、きっと心の中で祝っていることと思います。

明日は卒業式。子供たちにとって晴れやかな門出となるように、私達教職員も全力で頑張りたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

6年生を送る会

5日は卒業式に先立って「6年生を送る会」がありました。とても感動的な会でした。5年生の子供たちは「6年生から津谷小学校リーダーのバトンをしっかりと受け取ろう」とする強い気持ちを持って、会を運営していました。4年生から1年生の子供たちはお世話になった6年生のために楽しんでもらいたいと、出し物や準備を頑張っていました。何よりも素晴らしかったのは、6年生の子供たちの「態度」です。1年生から5年生の出しものや準備を感謝の気持ちで受け止め、明るく温かくその場を盛り上げていました。5年生の文字並べクイズには楽しく反応し、4年生の何でも引き受け株式会社と替え歌は大いに楽しみ、3年生の「喜びの歌」の演奏には盛大な拍手を送り、2年生のダンスには手拍子で盛り上げ、1年生の合奏と6年生の入学写真のスライドショーには「おお！」と歓声をあげるなど、発表した子供たちが心から嬉しくなる「態度」でした。最後は笑顔と別れを惜しんで泣きながら送る在校生に見送られ、満面の笑顔と惜別の涙を流しながら退場した6年生。後から校長室に来て、「今日はありがとうございました。」と感謝のメッセージカードを教職員に届けてくれました。6年生や5年生から1年生の子供たちから私もたくさんの喜びと感動をもらいました。心温まる素敵な会でした。



3. 1 1 追悼コンサート

3月11日「宮城镇魂の日」に、1年前から企画していた「3. 1 1 追悼コンサート」を実施しました。保護者の皆様のお手元にはコンサートのチラシが届いていたかと思います。これは、米国ベイラー大学との交流会や学校地内の樹木選定などで大変お世話になっている、もと消防士で震災の語り部をなさっている佐藤誠悦様のお計らいで実施することができました。昨年度の3月11日にも行いましたが、そのときは何とインフルエンザが大流行し、参加できない子が多数いた上、体育館がとても寒かったことを受けて、今年度は、はまなすホールで実施しようということになりました。今年度は地区防災訓練も実現できそうなどし、せっかくなので津谷地区全員の子供たちで行おう！…と思いつき、津谷中学校の校長先生や津谷・小泉幼稚園の両園長先生、津谷保育所の所長先生にもお声がけしたところ、快く賛成していただき実現することができました。去年の春頃に、はまなすホールの座席表をいただき、参加予定人数で席割りをしたところ、なんと殆どの座席が埋まることが分かり、これはきっと盛大な会になるに違いないと思っていました。ピアニストの藤波結花様やチェリストの諸岡由美子様も忙しいスケジュールを割いていらしてくださいました。

子供たちは佐藤誠悦様の震災の話に涙し、美しいピアノとチェロの音色にうっとり聞き入り、(知っている曲には思わず歌を口ずさむ子もいました。)
「歌よありがとう」「春が来た」の合唱では、小中学生、幼稚園児の歌声が一つになる大合唱となりました。子供たちの感想には、「東日本大震災では、悲しいことがたくさんあったことを初めて知ることができました。当たり前のことがありがたいということも分かりました。決して忘れてはいけないと思いました。」など、震災を語り継ぎ、命を守ること、命の大切さ、当たり前の日常のありがたさを感じた内容が多くありました。とても素晴らしいコンサートになりました。

6年生「卒業記念授業」

卒業式を間近に控えた3月12日、宮城教育大学名誉教授の相澤秀夫先生にお出でいただいて、卒業記念の授業をしていただきました。教科は道徳科。教材は「風切るつばさ」という物語で、6年生の国語の教科書にも掲載されています。その授業を実施するにあたって、私と6年生の担任で、歴史小説家の司馬遼太郎氏が、かつて大阪書籍6年国語教科書のために書き下ろした「21世紀に生きる君たちへ」の学習をしました。これもまた心に響く随筆です。相澤先生には、6年2組や1年1組、4年1組、3年2組、5年1組の子供たちが音読指導をしていただいたり、昨年度6年生の子供たちが5年生のときに津谷小学校で国語の授業をしていただいたりしています。本校の校内研修に大きく関わっていただいている先生の1人です。相澤先生は宮城教育大学附属中学校、宮城県教育委員会指導主事、文部科学省教科調査官、宮城教育大学教授を歴任された御高名な先生です。全国各地で国語科や道徳科の指導をなさっている先生です。津谷小学校には、一昨年度から子供たちに授業していただいたり、教職員に指導していただいたりしていました。6年生の子供たちに卒業前にぜひ、生き方について深く考え、中学校進学に向けてたくましく未来を拓く力を培ってほしいという私の願いから、この授業をしていただくことになりました。全国の学校に招かれることが多くとてもお忙しい先生で、ぎりぎりまでできるかどうか分かりませんでしたが、何とか調整していただいて3月12日に来校していただけることになりました。

授業では、子供たちは深く考え、よく書き、友達と自分の考えを交流し合いさらに深く考えてました。校内の教職員だけでなく、学校運営協議会委員の方々も数名参観されましたが、会長の菅原英俊様や委員の千田孝昭様は、子供たちの真摯な姿に何度も何度も「素晴らしい。感動した」と仰ってください、津谷幼稚園の齋藤さつき園長先生は、「こんなに成長した姿を見ることができるなんて…」と涙を流していらっしゃいました。授業後に「校長先生からも子供たちへひと言どうぞ」と言われ、子供たちに感動を伝えようと思いましたが、喉が詰まってなかなか話すことができませんでした。子供たちが相澤先生に宛てた御礼の感想を紹介します。

「先日は、僕達や先生方のために津谷小学校に来てくださり、有難うございました。『風切るつばさ』の授業は誰もが人生で一度は気研するようなシチュエーションを鶴の群れで際限したような感じで、鶴の群れに共感できるような場面もありましたが、最終的に思ったことは、物事は何でも感情任せにせず、その本質を見極め、『本当にそうなのか、それで良いのか』一度疑って見ることも大事だということが分かりました。本当にありがとうございました。」